



HOKKAIDO
UNIVERSITY

スペインの医療男女共同参画 課題と今後の展望

C01

大塚製薬、ベーリンガー・インゲルハイム、中外製薬、ヤンセン、エーザイ株式会社、アッビー株式会社、ブリストルマイヤーズ、ユーシービー、イーライリリー、第一三共製薬、ギリヤド・サイエンシズ、ノバルティス社より開示基準を超える奨学寄付金および／または講演料あり

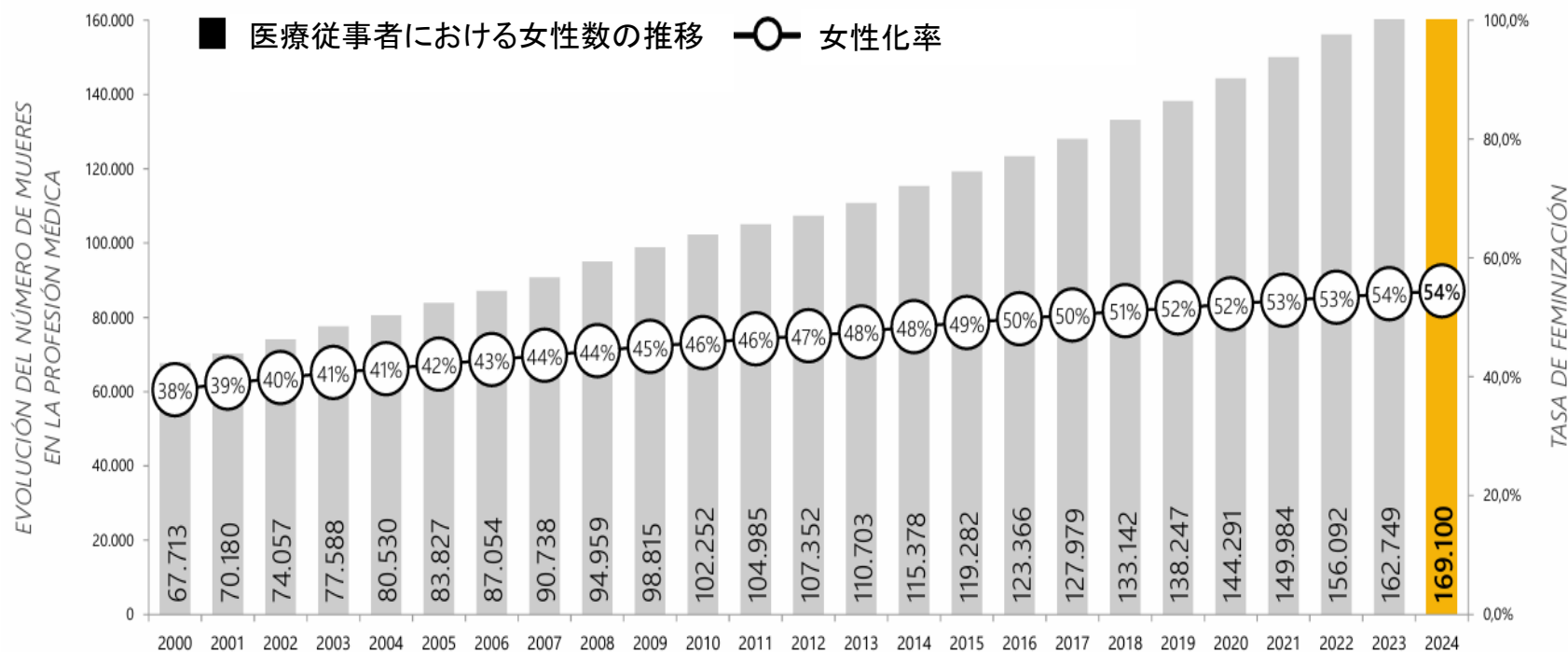
渥美 達也
オルガ・アメングアル

北海道大学
2026年4月22日

スペインにおける医療従事者の女性比率の推移

医師の**59%**が女性(2025年)

医学生の**約70%**が女性

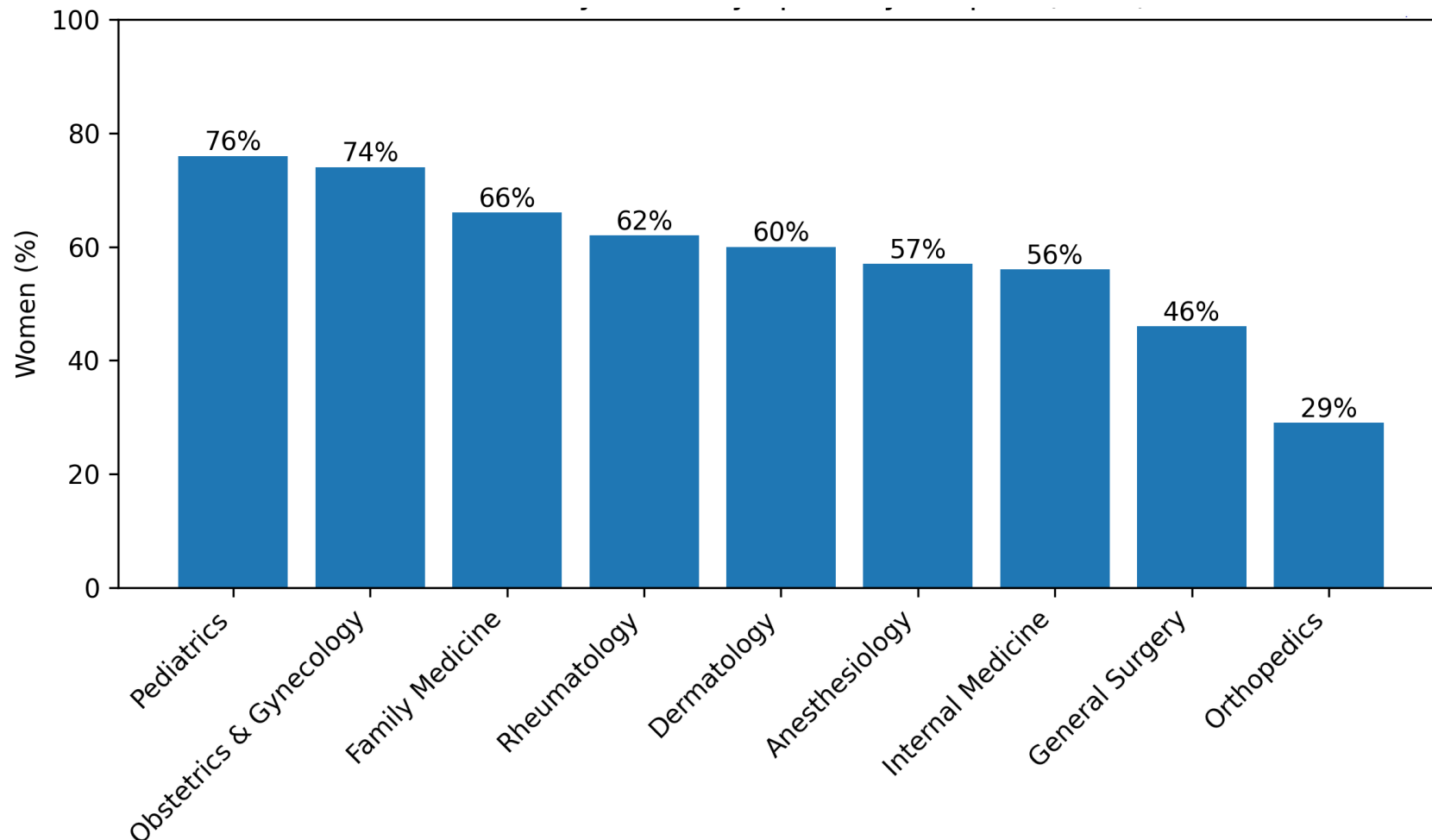


出典: スペイン医師会(OMC)。『スペインの医療人口統計 2025』



HOKKAIDO UNIVERSITY

スペインにおける女性医師の診療科別分布



スペインの医療リーダーシップにおけるジェンダー不平等

主な課題

❖ リーダーシップの不足

医師・医学者のうち女性が占める割合は**61.1%**

しかし、リーダー層では過小評価されている



- 部門長: 女性の割合は26%
- 学部長: 女性の割合は27%
- 医学学会: 女性会長は21.7% (46人中10人)

❖ ワークライフバランス

キャリアアップや指導的役割への障壁

> Hum Resour Health. 2023 Sep 20;21(1):77. doi: 10.1186/s12960-023-00860-2.

Gender inequity in the medical profession: the women doctors in Spain (WOMEDS) study

Claudia Santucci ^{1 2}, Beatriz González López-Valcarcel ³, Cristina Avendaño-Solá ^{4 5}, Mari Carmen Bautista ⁶, Carmen Gallardo Pino ⁷, Lourdes Lledó García ⁸, Elena Martín-Perez ⁹, Pilar Garrido López ^{8 9 10 5}





ジェンダー平等を推進するための スペインの法的枠組み

➤ 男女平等基本法(2007年)

公共政策および公的機関
の指針となる原則として、
男女平等を定めた

➤ 母親と父親の平等な育児休業

育児の責任を分担し、親に
なることが女性のキャリア
に与える影響を軽減する

➤ 職場における平等計画

差別を減らし、女性のキャ
リアの機会を向上させる



母親と父親のための育児休暇

- スペインは**父親の育児休暇**を段階的に拡大した
- **2021年**、産休と育児休暇が同等に扱われるようになり、**両親それぞれに16週間の全額支給休暇が認められた**

•2007年:	13日間
•2017年:	4週間
•2019年:	8週間
•2020年:	12週間
•2021年:	16週間(産休と同等)
•2025年6月:	19週間(新制度)

- この政策は、キャリア形成における男女間の不平等を解消することを目的としている



母親と父親の育児休業の平等

現在の育児休業(2025年～2026年)

両親それぞれに19週間の有給育児
休暇が与えられます

主な特徴

- 休暇中は全額支給
- 出産直後の6週間は取得が義務付けられています
- 残りの休暇は、赤ちゃんの生後1年間にわたり柔軟に取得可能

スペインにおけるその他の家族支援措置

1. 育児休暇

- 有給の勤務時間短縮
- 育児のため、1日あたり約1時間
- 両親ともに利用可能。

2. 育児のための勤務時間短縮

- 12歳未満の子供を対象
- 給与は勤務時間に応じて減額されます。

3. 無給の育児休暇

- 子供が3歳になるまで
- 雇用保障あり

女性医師：スペイン対日本



- 女性医師の割合が高い



- 平等な育児休暇制度



- 女性医師の割合が低い



- キャリアアップの障壁が大きい



要点

- スペインの医療医学は、女性比率の高い分野
- しかし、特に管理職においては、依然として男女間の不平等が残っている。
- スペインは、両親に同等の休暇を認め、最も進歩的な育児休暇制度の一つを有している。

